



2026年3月25日

各 位

会 社 名 株式会社はるやまホールディングス  
代表者名 代表取締役会長兼社長 治山 正史  
(コード番号 7416 東証スタンダード)  
問合せ先 財務経理部長 岸本 行正  
(TEL 086-226-7101)

特別損失（減損損失）の計上及び  
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。併せて、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上見込みについて

収益性の低下がみられた営業店の固定資産に関して、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、2026年3月期第4四半期連結会計期間において減損損失310百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。なお、当第3四半期連結累計期間までに計上している減損損失41百万円を含めて、当連結会計年度における減損損失は351百万円となる見込みであります。

2. 連結業績予想の修正について

2026年3月期通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,500	630	1,000	500	31.23
今回発表予想 (B)	34,500	△850	△460	△980	△62.04
増減額 (B-A)	△3,000	△1,480	△1,460	△1,480	—
増減率 (%)	△8.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	36,135	625	964	670	41.15

修正の理由

当社グループは、主力商品の需要が高まる最終四半期連結会計期間（1月～3月）の売上高が他の四半期に比べ大きくなる傾向にあります。当期も前期同様1月～3月の既存店売上高前年比が102.2%～104.7%程度で推移すると想定し、上期にビジネスウェアの市場認知度の向上や新たな顧客層の開拓を目指し、広告宣伝を含む統合的なマーケティング施策を積極的に実施いたしました。この効果により下期売上高が一定程度伸長することを見込んでおりました。想定通りお客様一人あたりの購買単価は好調に推移したものの、個人消費の停滞に伴う既存店客数の減少をカバーできず

減収となる見通しです。このことに加え、2025年6月に発生した不正アクセスによるシステム障害では、ECサイトの受注を停止したことで、好調に推移していたEC売上の伸長が一時鈍化し、その影響が最終四半期まで一定程度継続したことも減収の一因となりました。

利益面では、物価高騰の影響による商品原価の上昇が継続していることに加え、前述のとおり収益性の向上や将来に向けた成長戦略の実現を目指した戦略的な投資を行った結果、営業利益及び経常利益は当初の予想を下回る見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の特別損失の計上に伴い当初の予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上